

## 令和8年度 学校推薦型選抜 小論文（第一部 商経学科）解答例

### 【テーマ】

社会・経済の課題について考える

### 問1（40点）

#### 【採点のポイント】

- ・筆者の考えを論理的に説明できているか。

#### 【解答例】

「魚職」とは、魚食文化を育んだ職能のことである。鮮魚店から発信されてきた魚食文化の背景にある魚固有の強みを伝える職能や、魚を獲るところから食べるところまでに介在する職能すべてが「魚職」である。また、それらの職能の結びつきがあればこそ、現在の魚食文化があるといえる。こうした職能である「魚職」の活躍の場が失われてきた背景には、スーパーマーケットが台頭し、刺身用、フライ用といった切り身商材のセルフ形式による買いものが今日では主流となったことがある。これによって、かつての鮮魚店でみられた丸魚の調理の仕方まで教えて販売する機会が減ったこと、また、魚が食卓に上らなくなっていることも理由と考えられる。

### 問2（60点）

#### 【採点のポイント】

- ・課題文の内容を適切に把握できているか。
- ・身近な事柄に引き寄せて説明できているか。

#### 【解答例】

「魚離れ」が顕著になっている理由として、魚はスーパーで買うことが当たり前となっていることがあげられる。それによってセルフ形式の買い物が主流になり、店員との会話を煩わしく感じたり、魚自体に興味を持たない生活者が増え、鮮魚店での買い物が選ばれなくなっていること、また、食生活ではいろいろな食、食材がシェアを奪い合った結果、消費が多様化したことも魚が選ばれなくなっていることにつながっている。さらに、地球温暖化によって海水温が上昇し、食べなれている魚が獲れなくなっていること、全国的な人手不足によって漁師、地域の鮮魚店の世代交代が進まないことなど、漁業が衰退してきていることも原因の一つとあってよいだろう。私の住む地域でも漁師の廃業が増えている話をよく耳にする。

また、私自身の暮らしに関連することとしては、マイクロプラスチックによる海洋汚染の問題がある。たびたびニュースになっているが、ペットボトル、レジ袋などが不法に投棄され、河川から海に流れ、波や紫外線によって劣化・破碎されたものを魚が摂取し、体内で濃縮が進み、その魚を人間が食べることによって

深刻な健康被害をもたらす可能性があるといわれている。私はこれによってまったく魚を食べなくなったわけではないが、口にするとときに少し不安を感じるようになった。こうしたことも魚離れにつながっているのではないかと考えている。